

令和2年度 富山県盲ろう者向け通訳・介助員養成講習会 呼 び か け

富山県より「障害者社会参加総合推進事業」の委託を受けて、標記の「盲ろう者向け通訳・介助員養成講習会」を2年間かけて行います。今年度は「前期・基礎課程」を別紙の実施要項のように、令和2年9月20日から11月22日まで、7回・全22講座を開催することになりました。来年度は「後期・応用課程」を開催します。

盲ろう者とは、目と耳の両方の障害を併せ持つ人のことで、中にはヘレン・ケラーのように、全く見えず、全く聞こえない人もいます。全国にはおよそ2万2千人、富山県にはおよそ150人の盲ろう者が、光と音を部分的に、あるいは完全に失い、「まるで夜の海に沈められたような、深い孤独の中で生活している」といわれています。

今回の講習会は、家の中に閉じこもり、家族とさえほとんど話をすることもなく、ひっそりと生活している盲ろう者やその家族が、苦しみを分かち合い、喜びを共にする仲間がいることを知り、共に社会の一員として誇りを持って生きることを支援する者を養成することを目的としています。

盲ろう者の情報保障、移動支援のためには、盲ろう者の理解はもとより、支援活動のためのきちんとした通訳、移動介助の学習が必要です。この講習会を通じて盲ろう者向け通訳・介助の技術を学び、あわせて、盲ろう者への理解を一層深めていただけますようお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染予防対策（検温、換気、消毒等）を行った上、講習会を実施します。なお、申し込みが少ない場合は、開催を見合わせる場合があります。

テキスト・資料などの準備もありますので、受講申込は8月20日（木）までに、社会福祉法人 富山県聴覚障害者協会へ、郵送またはファクスにてお願いします。

社会福祉法人富山県聴覚障害者協会